

第1章 土地利用計画

1. フレーム検討（現況、将来）

（1）人口の現況と推移

①現在人口の把握と過去の推移把握

- ・住民基本台帳及び国勢調査結果を用いて、人口データとする。
- ・行政区単位で行う。

（2）就業者数、従業者数の推計

- ・就業前（0～15）、就業（15～65）、就業後（65～）、を一定の考えで区分する。

（3）人口推計（コーホート法、エクセル）

①香南市の出生率

香南市の年齢別出生率、高知県、日本人口問題研究所と比較する。

②年齢別死亡率

香南市の年齢別死亡率、高知県、日本人口問題研究所と比較する。

③社会異動

- ・開発（企業立地、自衛隊等）
- ・ベッドタウン化（団地造成との関連）
- ・勉学、勤労、高齢化等による移動
- ・市内移動

2. 産業フレームの検討

（1）現況産業区分

①産業区分別人口

香南市版産業区分を設定し、区分毎の、従業者（昼間）、就業者（夜間）を算定する。

②産業区分別生産額（産業によって、指標を設定）

産業により、収集可能な指標を用いる。

③産業区分別施設規模

施設数、規模、面積を算定

（2）産業構造の推計

①将来人口フレームより、従業者数を推計

②産業区分別従業者数を推計

③産業別施設規模を推計

- ・第一次産業（農業、林業、漁業）
- ・第二次産業（製造業等）
- ・第三次産業（商業、サービス業、その他）

（3）公益教育施設

①現況公益教育施設の調査

- ・現況調査と施設規模の表作成

②他都市の事例より算出原単位の設定

- ・都市別公益施設統計、人口規模別標準都市施設整備基準（？）

③公益施設の需要量を推計

- ・原単位と人口フレームを用いて、

④保育、幼稚、小学、中学、高校の人口推計

- ・原単位と人口フレームを用いて、

⑤地区別必要施設の推定

(4) その他、人口移動（通勤通学と産業）

市内、市外への人口移動状況を、可能な限り把握

3. 土地需要、施設需要の検討

フレーム検討結果を元に、分野別、段階別の土地及び施設の需要量を想定する。

①都市的土地利用

(住宅、商業、工業、公益施設、公園等)

②農業農村的土地利用

(農村、園芸、畑、水田、農業施設、ため池等)

③自然的土地利用（これは別途かも）

(森林、里山、池、緑地、海浜、その他)

第2章 交通網体系基本計画

1. 交通量の検討

(1) ゾーンの設定

① ゾーン区分

- ・面積、人口フレーム、産業フレーム、施設立地計画

(2) 発生交通量の設定

① 産業、観光

- ・土地利用原単位、施設原単位から想定

② 通勤通学

- ・人口フレームと、移動需要原単位から想定

③ 生活（買い物、交際）

- ・香南市の特性原単位から想定

④ 福祉（介護、通院）など

- ・経験原単位から想定

⑤ 観光交通

- ・経験原単位から想定

⑥ その他

- ・経験原単位から想定

(3) OD（発、目的）

① 既存並びに計画交通需要の設定

- ・OD表の作成

② 道路別の現況並びに発生交通及び通過交通予想により将来交通量の検証

- ・将来交通量（OD伸び率）の設定

③ ゾーン間交通需要の推計

- ・10年、20年、30年想定

2. 道路網計画の検討

(1) 現況道路網のネットワーク検討

① 現況道路の把握

(2) 将来道路網の検討

① 発生交通需要より、必要ネットワーク検討

② ODより将来ネットワークの想定

(3) 交通量配分想定（通過交通含む）による検証

(4) ゾーン内道路網の方針

3. 道路網整備方針

(1) 既存道路の位置づけ

① 国、県道

- ②市道
- ③その他（機能ランク、法定外を含む）

(2) 交通量等の必要道路機能

①道路構造規格の設定

- ・都市間交通道路
- ・幹線道路
- ・補助幹線道路
- ・その他道路

②道路網整備計画

- ・整備、改善、保全の計画

(3) 将来幹線補助幹線道路網整備計画

①整備手法の可能性検討

②整備事業の可能性検討

(4) 将来生活道路整備方針（法定外の取り扱いを含む）

①整備手法の可能性検討

②整備事業の可能性検討

(5) 維持管理計画

- ①行政の役割
- ②アウトソーシング
- ③受益者維持管理

4. 公共交通体系計画

(1) 利用状況の推計（各種フレームによる）

(2) 公共交通体系連携検討

- ①バス
- ②鉄道
- ③福祉交通需要
- ④生活支援交通需要

5. 公共交通運営計画

(1) 運営組織（手法）の検討

(2) 連携体制の検討

(3) 利用料金の考え方検討

第3章 水資源等活用保全基本計画

1. 生活水処理計画

(1) 上水道計画

- ①人口フレーム、産業フレームに基づく、ゾーン別（設定）水需要
例、ゾーン区分図、ゾーン別水需要、取りまとめ表
- ②給水計画、配水池計画
例、配水池からゾーンへの幹線水道管網計画と給水量計画、取りまとめ表
- ③取水計画
例、取水施設配置と取水量、並びに、配水池への配水計画、取りまとめ表
- ④現況施設と計画施設の整理
例、現況施設整備状況図、将来施設整備計画図
- ⑤段階整備構想
例、整備手法、整備被、段階整備計画

(2) 下水道（污水）計画

- ①ゾーン別下水処理需要
例、給水量に基づく、汚水量と幹線ルート
- ②ゾーン別下水処理方針（公共、コミュニティー、合併浄化槽等）
例、公共下水道計画、都市下水路計画
- ③下水道施設整備計画
例、幹線下水道、下水路の整備計画図
- ④実現方策の検討
例、整備手法、段階整備計画

(3) 施設の維持管理及び運営方策の検討（上下水道）（ここまでやる？）

- ①維持管理費
- ②整備事業費
- ③利用料徴収計画
- ④収支計画とバランスシート

2. 雨水処理計画

(1) 河川雨水排水計画の概要

- ①流域別河川排水計画（物部、烏、香宗、新川、夜須等）
 - ・確率年、雨水洪水量、流下能力等について、県と協議
 - ・河川整備計画（断面、高さ、勾配等）の確認
- ②流域別洪水排水計画の概要
 - ・流域別放流量の確認（流域図と洪水放流）

(2) 幹線雨水排水施設計画

- ①ゾーン別降水量と洪水量

- ・土地利用計画、降水確率、洪水流量、県と協議

②ゾーン別、雨水排水幹線計画

- 河川ルート、断面計画

- ・流下能力等について

(3) 洪水対策の検討

①細流域別の洪水調整機能の検討

- ・調整池、調節池（遊水機能）、流出制御（土地利用）、地下浸透など

②細流域別の放流機能の検討

- ・ショートカット、内水対策（ポンプ）、調節池

3. 農業用、工業用の用排水計画

(1) 農業用水量の算定

①土地利用別（田、園芸等）必要用水量の設定

②ゾーン設定による、ゾーン別用水必要量の推計

③幹線用水路網計画

④幹線排水路（雨水込み）計画

⑤用水取水施設計画（堰、地下水等）

(2) 工業用水量の算定

①土地利用別（田、園芸等）必要用水量の設定

②ゾーン設定による、ゾーン別用水必要量の推計

③ゾーン別取水施設、配水施設、給水施設計画

④幹線排水路（雨水込み）計画

4. 水源保全検討

(1) 地下水需要

①上水、工業用水、農業用水の取水計画

②必要涵養水量の推定

(2) 河川取水需要

①農業用水取水計画

②必要施設

(3) 地下水涵養計画

①ゾーン別涵養必要水量

- ・地下水系統の把握と系統別地下水利用量

②系統別地下水涵養施設の必要量

- ・施設別涵養量の推計と必要施設規模

③涵養施設の整備計画

(4) 河川水涵養計画

①必要流量の確保の手法

- ・ため池、堰
- ②整備の実現課題検討
 - ・堰の統一や段階整備
- ③整備手法
 - ・土地改良、河川改良等
- ④施設維持管理の手法
 - ・アウトソーシング等

第4章 公園緑地景観環境形成基本計画

1. 基本方針（水と緑と風の保全＝総合計画）

（1）香南市公園緑地景観環境形成の基本方針

①公園緑地の考え方

都市公園法、都市緑地法に基づき、方針をまとめる

②景観計画の考え方

景観法に基づき方針をまとめる

③環境計画の考え方

環境基本法に基づき方針をまとめる

（2）香南市の資源の現況

①自然環境の現況

例、森、水路、ため池、植生など

②社会環境の現況

例、エネルギー（風、光、水）、快適な公共空間（道路、水路、敷地）など

③生活環境の現況

例、水路、池、公園緑地、広場、など

④施設環境の現況

例、建物、建造物、公共施設（道路、水路）など

（3）機能分類の考え方

香南市の実情に合わせた分類を行う（グランドデザイン）

①森林保全活用地区（山間部）

②水辺環境保全整備地区（農地）

③公園緑地整備地区（市街地）

④景観環境整備地区（全域）

2. 公園緑地形成基本計画

1) 森林保全活用地区

（1）森林に求める機能の整理

①林業、レクリエーション、ハイキング、自然観察等の活用案の整理

②土砂、洪水、崖崩れ等の災害予防対策案の整理

③地下水涵養、動植物の保全

（2）必要な施設

①保全施設

例、水源涵養、土砂災害防止、防風林、広葉樹林、その他

②活用施設

例、植林、レジャー・レクリ、動植物園

③整備施設

例、地下水涵養施設、遊水池、調整池、残土廃棄物埋め立てなど、

- (3) 森林形成計画
 - ①平面図
 - ②施設概要（表など）
- (4) 実現化方策の検討
 - ①段階備計画や手法
 - ②維持管理計画
- 2) 水辺環境保全地区
 - (1) 水辺環境に求める機能の整理
 - ①生態系や動植物の保全
 - ②自然環境の循環、共生、ビオトープなど
 - ③景観、環境、安全、憩いなど
 - ④地下水還元、水質浄化など
 - (2) 必要な施設
 - ①流下能力
例、流量、流速、調整機能、地下浸透など
 - ②構造
例、法面、広場、ため池、親水機能など
 - ③風景
例、植栽（植樹）、遊歩道、休憩施設など
 - (3) 水辺環境形成計画
 - ①平面図
 - ②施設概要（表など）
 - (4) 実現化方策の検討
 - ①段階備計画や手法
 - ②維持管理計画
- 3) 公園緑地計画
 - (1) 現況の公園緑地機能の整理
 - ①香南市の現状
これまでの考え方と、整備の経緯（民間、公共）と規程
 - ②現状の公園緑地の把握
例、公共の公園緑地、民間の公園緑地、施設（敷地内）公園緑地、公共空間（道路等）
 - ③問題点と課題
例、将来の姿、管理、規模、需要等について
 - (2) 公園緑地施設の考え方
 - ①公園緑地の整備目標
例、数値目標（規模、形状、機能など）
 - ②公園緑地の配置基準
例、地域、距離、人口密度、等

(3) 施設の機能の考え方

- ①都市公園（ポケットパーク、街区公園、近隣公園、地区公園、大規模公園等）
- ②その他公園（運動公園、海浜公園、親水公園、動植物公園、墓地公園、その他）
- ③緑地（遊歩道、防災緑地、法面緑地、敷地内緑地等）

(4) 公園緑地配置計画

- ①平面図
- ②施設概要（表など）

(5) 実現化方策の検討

- ①段階備計画や手法
- ②開発負担や基金創設

3. 景観整備計画

(1) 景観形成の考え方

- ①自然景観の考え方（森林、スカイライン、眺望、水辺、田園等）
- ②都市景観の考え方（産業、住宅、公益施設、公共（道路等）空間、建物及敷地等）

(2) 自然景観整備の方針

- ①コンセプト（美しい、一体、身近など）
- ②環境構成要素の確立と基準設定
- ③整備並びに維持管理手法の検討

(3) 都市景観整備の方針

- ①コンセプト（統一、共同、見え方など）
- ②都市景観構成要素の確立と基準設定
- ③整備並びに維持管理手法の検討

(4) 推進及び促進方針

- ①各特徴あるモデル事業の設定
- ②自然景観モデル地区、都市景観モデル地区の整備方針

4. 環境整備計画

(1) 環境整備の考え方

- ①コンセプト（自然融合、安全安心、都市的、集落的など）
- ②環境構成要素の設定（空気、風、水、ゴミ、害虫、光、陰、騒音など）

(2) 環境整備保全方針の検討

- ①構成要素の望ましい方向とその基準
- ②公共空間や公共施設及び民間施設や空間との連携方針
- ③促進地区、モデル事業の設定

(3) 循環共生システムの検討

- ①水、ゴミ、電力など
- ②モデル事業の提案

第5章 観光ルート拠点形成基本計画

1. 観光の役割と施設及びその機能

(1) 観光資源の洗い出し

①香南市に立地する観光資源を、マップと表に表す。

②その際、機能別、形態別に区分する。

例、歴史、眺望、観光施設、体験施設、買い物、飲食、宿泊など

③施設の特長も把握する。

例、位置、規模、利用料金、利用者数、運営主体など

④施設への交通手段を調べる

例、最寄り駅、最寄りバス停、自動車ルート、駐車場台数、利用徒歩距離

(2) 観光の現状分析

①施設ごとに、機能の評価をする。

例、利用者年齢階層、時期、期間、満足度

②利用者数とその内容を評価する。

例、年齢、男女別利用者数、評判、インターネット情報など

③問題点や課題を検討し、まとめる。

(3) 現況観光ルートマップ作成

例、観光ルート（利用量を線の太さで表す）、観光者数（男女別年代別数を棒グラフで表す）

2. 観光施設の将来像

(1) 香南市観光施設の考え方

①問題点や課題への対応方針を検討する。

②香南市の将来の観光の役割や求められる機能を提案する

例、集客、経済、流通、就業、その他

(2) 香南市観光拠点ルート整備方針

①役割及び機能を充足する各施設の将来像を描く。

例、観光施設の整備、改善、保全

②役割及び機能を充足する観光ルートの将来像を描く。

例、観光交通の整備、改善、保全

例、連携、パスポート、一日乗車券など

(3) 香南市観光拠点ルートの将来像のまとめ（現況図と対比できる）

①その際、機能別、形態別に区分する。

例、歴史、眺望、観光施設、体験施設、買い物、飲食、宿泊など

②施設の特徴も把握する。

例、位置、規模、利用料金、利用者数、運営主体など

③施設への交通手段を調べる

(4) 将来観光ルートマップ作成

香南市が構想する観光資源を、マップと表に表す。

3. 観光振興の将来方針の検討

(1) 香南市全体の観光運営のあり方

①全体の考え方（香南市全体をテーマパークに）および各種指標の目標像

例、体感学習都市香南、入り込み客数100万人（延べ300万人）売り上げ10億円

②既存施設並びに各種運営団体の役割

例、テーマに沿った施設の役割と、連携方針

③新機能の充実方針

例、既存施設と新施設の連携

例、観光施設と、その他都市機能・施設との連携

(2) 香南市全体の観光運営のイメージ

①各種観光モデルプラン検討

例、望ましい観光プランの検討と、問題点改題の検討

②施設運営のモデルプランの検討

例、モデル拠点施設の運営方向の提案

例、施設運営の連携モデルの検討

③各種関連機関の機能と役割の整理

4. 広域観光都市への展望提案

(1) 都市機能・施設との回廊性やコラボレーション

①各種イベントへの参加と、宿泊観光のコラボ

例、祭りやイベントに参加し、お客を味わい、宿泊し、生鮮場産品のお土産とか

②体験観光と、一時滞在、宿泊と、体験観光とのコラボ

例、農家体験、森林体験と農家民宿と、休日の海山レジャーの案内

③レジャーレクリ体験と、宿泊・観光コラボ

例、つり、海水浴、ゴルフ、ハイキングのあと弁天絵金等文化演芸体験

(2) 生産加工販売施設・機能とのコラボレーション

①農業、林業、漁業体験と、生産加工体験とのコラボレーション

例、オーナー制度と収穫物加工飲食体験

②観光施設拠点巡りと地場産品直売加工販売

例、香南市いいところ巡りと温泉と土産物レストラン

③広域観光のゲート機能

例、お遍路、観光バス、団体観光の入口出口となる大規模土産物店

(3) 公共交通とのコラボレーション

①航空・鉄道・広域バス等の割引

②市内公共交通無料乗り放題パス

③観光客支援ボランティア車（ヒッチハイク応援者）ネットワーク

④民間保有バス（宴会施設等）の観光客輸送支援ネットワーク

(4) 地場産品・レストラン・土産物店とのコラボ

①観光客割引特別メニューと、特別無料試食品

②観光客特別試供品（お土産）

③地場産品その場で調理提供機能の充実

(5) パスポートと観光（地域）通貨

①パスポートを持っていれば、香南市全部が楽しめる。

例、施設入場料、サービス飲食、公共交通、特産品のお土産などの無料化

②パスポートチケット代金を観光（地域）通貨で還元

例、パスポート1000円で、500円の買い物券、20万人利用で1億円売上

③その他、各所で特別おもてなし

例、飲食一品サービス、飲み物サービス、その他観光支援ボランティアサービス

(6) その他提案事項

①観光客からのヒアリング

②民間（市民）からのヒアリング

③観光提供者からのヒアリング、など

5. 香南市観光ルート拠点運営計画

(1) 行政の役割

(2) 民間施設との役割分担

(3) 市民との役割分担

(4) 第三機関（観光協会等）の役割